

# シラカシ

ブナ科・コナラ属（常緑高木）

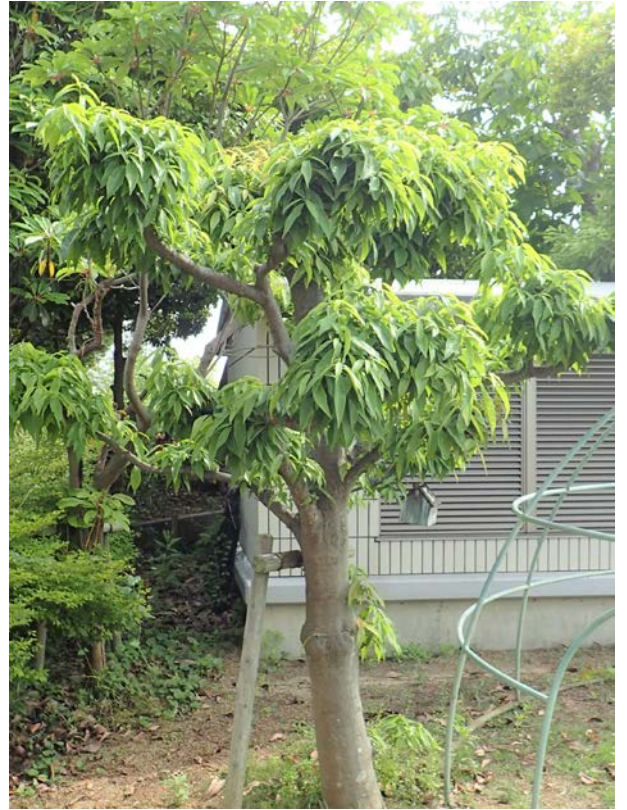
## 特徴

昭和47年10月5日にカシの木（総称で特定のものを指していない）が姫路市木に制定されました。樹高10m～20m程度で4月～5月頃に開花します。

カシ類の中でも耐寒性が強く、生長も早いため街路樹や公園樹として広く植えられています。

材の色が白っぽいことが名前の由来ですが、樹皮が黒っぽいことからクロカシとも呼ばれ、カンナの台やカナヅチの柄などに利用されます。

細長くて薄い葉で、縁には先から2/3あたりまでギザギザがあり、ドングリは長さ1.5cm～2cmほどのタマゴ型です。



## 用土

水はけのよい砂質土壌が好ましいです。

## 場所

日当たり、水はけ、風通しの良い場所が適しています。一度植えると植え替えは困難です。大きくなったときのことを考慮して場所を決めましょう。

## 水やり

庭植えは、植え付け後しばらくは乾かし過ぎないように管理し、根付いてからは特に与えなくてもかまいません。

## 肥料

2月下旬から3月に有機質肥料を与えます。

## 植え付け

5月に行います。

地面に苗木の根鉢より2倍ほどの植え穴を掘り、掘りあげた土に腐葉土、肥料などを混ぜ合わせます。混ぜ合わせた土を植え穴の3分の1程戻し、そこに根鉢を少しくずした苗木を置き、残りの土を戻して埋めます。植え穴と同じ大きさに土を高く盛り、苗木の周りが水が溜まるぐらいの水鉢を作り、水を入れます。植木を左右に少しゆらしながら水を注ぐと土中の空気が抜けます。水が引いたら支柱をたてます。

## 剪定

ほぼ放任で自然樹形を楽しめます。刈り込みは11月か新枝が伸びる直前の4月が適しています。刈込みに強いので、美観を保にはまめに刈り込みましょう。